

令和7年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	国際ITビジネス科			教科名	IT概論	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	山田ノ	
学 年	1年			教科番号	1101	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	留学生が情報処理の基礎知識を学習するための入門書「留学生のためのITリテラシー」を教科書として使い、最新のIT用語・ビジネス、情報モラルについて学ぶ					
到達目標	ITにひも付く要素を理解する能力と情報処理全般の基礎知識を学習し知ることができる。 情報処理・ITに興味を持ち概要を説明できるようになる					
教材名	「留学生のためのITリテラシー」 著者・秋山崇 発行所・(株)インフォテック・サーブ					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性						
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 留学生は授業中の母国語での発言・会話を禁止。 ・ 携帯電話、不必要なものはカバンにしまうこと。 ・ 授業での分からない言葉単語・日本語は教員に適宜質問すること。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	30%	0%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	ハードウェアとソフトウェア コンピュータの種類
2	ハードウェアとソフトウェア コンピュータの基本構成
3	ハードウェアとソフトウェア プロセッサとメモリ
4	ハードウェアとソフトウェア ソフトウェアの利用
5	データベース データベースの構築
6	データベース データベース管理システム
7	ネットワーク ネットワークの基本構成
8	ネットワーク インターネット技術
9	セキュリティ 情報セキュリティの概要
10	セキュリティ 情報セキュリティ対策
11	セキュリティ 暗号技術
12	セキュリティ 認証技術
13	情報システム システムの構成
14	情報システム システムの評価指標
15	音声の入出力 マルチメディア技術
16	音声の入出力 ヒューマンインターフェース技術
17	プロジェクトのマネジメント システム開発技術
18	プロジェクトのマネジメント データ構造とアルゴリズム
19	プロジェクトのマネジメント プログラミング
20	プロジェクトのマネジメント プロジェクトマネジメント
21	サービスマネジメント サービスマネジメント
22	サービスマネジメント システム監査
23	企業と法務 企業活動と組織形態
24	企業と法務 業務把握と業務改善
25	企業と法務 企業会計
26	企業と法務 企業法務
27	経営戦略 経営戦略マネジメント
28	経営戦略 技術戦略マネジメント
29	システム戦略 情報システム戦略
30	システム戦略 情報システム戦略
31	システム戦略 システム企画
32	システム戦略 システム企画

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	ビジネス概論		
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	久保田		
学 年	1年			教科番号	1102	単位数	4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修	
	○						
授業概要	日本の企業で日本人と働くために必要な知識について理解したうえで、自分の能力・スキルを最大限に発揮し社会に貢献する。						
到達目標	1) 難しい漢字やビジネス用語について読んで理解することができる。 2) 職業人としてのマインドを養うとともに、日本人の考え方やビジネス社会の特徴、ビジネスマナーを知り、日本人と円滑なコミュニケーションを取りながら仕事ができるようになる。 3) 社会人としてのマナー（会社のルール、身だしなみ、挨拶の仕方、言葉遣いなど）がしっかりと身につく。						
教材名	グローバル人材ビジネス実務検定 公式テキスト						
資格の 取得目標	グローバル人材ビジネス実務検定3級(任意)						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性							
履修に あたっての 留意点	① 次の授業で行うセクションを読み、不明点を挙げておくこと。（予習） ② 積極的な発言・ワークなどにおける協働を行うこと。（質問、考えを述べる など） ③ 授業中はスマホ、イヤホン、ヘッドホンの使用は禁止する。（鞆にしまう等）						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	20%	10%	30%	40%		100%	

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	第1章 接遇の基本事項 Lesson1、2
3	Lesson3、4
4	Lesson5、6
5	ふりかえり(第1章)
6	第2章 コミュニケーション Lesson1、2
7	Lesson3、4
8	Lesson5、6
9	ふりかえり(第2章)
10	第3章 敬語 Lesson1、2、3
11	Lesson4、5、6
12	Lesson7、8、9、10
13	ふりかえり(第3章)
14	第4章 社会人としての心構え Lesson1、2
15	Lesson3、4
16	Lesson5、ふりかえり(第4章)
17	第5章 ビジネスマナー Lesson1、2
18	Lesson3、4
19	Lesson5、6
20	ふりかえり(第5章)
21	第6章 クレーム Lesson1、2
22	Lesson3、4
23	ふりかえり(第6章)
24	第7章 異文化適応力 Lesson1、2
25	Lesson3、4
26	Lesson5、6
27	Lesson7、8
28	Lesson9、10
29	Lesson11、12、13
30	ふりかえり(第7章)
31	総復習問題
32	前期末試験

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	サービス接遇	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	久保田	
学 年	1年			教科番号	1103	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
		○				
授業概要	日本のビジネス活動に必要とされる接遇マナー、基本的なコミュニケーションなどの基本スキルを習得する。					
到達目標	<p>①お客さまへの対応の仕方、所作についてやサービスに対する基本的概念などの基礎知識を習得できる。</p> <p>②サービススタッフとして必要な資質、サービスの専門知識、社会的な一般常識などの知識が身に付く。</p> <p>③サービス業ならではの接遇用語や、クレームや問題などに対処できるように顧客心理を理解した人間関係の対処方法が身に付く。</p>					
教材名	グローバル人材ビジネス実務検定 公式テキスト					
資格の 取得目標	グローバル人材ビジネス実務検定3級（任意）					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	○					
履修に あたっての 留意点	<p>①次の授業で行うセクションを読み、不明点を挙げておくこと。（予習）</p> <p>②積極的な発言・ワークなどにおける協働を行うこと。（質問、考えを述べる など）</p> <p>③授業中はスマホやイヤホン、ヘッドホンの使用は禁止する。（鞆にしまう等）</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	20%	10%	30%	40%		100%

回数	講義内容
1	後期授業に向けてのオリエンテーション
2	第8章 食事のマナー Lesson1、2
3	Lesson3、4
4	Lesson5 ふりかえり(第8章)
5	Lesson5 ふりかえり(第8章)
6	まとめ
7	第9章 国際プロトコール Lesson1、2
8	Lesson3、4
9	Lesson5、6 ふりかえり(第9章)
10	Lesson5、6 ふりかえり(第9章)
11	まとめ
12	季節の行事、製作1
13	季節の行事、製作2
14	季節の行事、製作3
15	まとめ
16	第10章 感動品質のサービス Lesson1
17	Lesson2
18	Lesson3
19	Lesson4 ふりかえり(第10章)
20	Lesson4 ふりかえり(第10章)
21	まとめ
22	季節の行事、製作1
23	季節の行事、製作2
24	季節の行事、製作3
25	第11章 ご高齢や障害のある方への対応 Lesson1
26	Lesson2
27	Lesson3、4
28	Lesson5、6 ふりかえり(第9章)
29	Lesson5、6 ふりかえり(第9章)
30	試験対策
31	後期末試験
32	まとめ、総括

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	文書処理実習		
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	戸川		
学 年	1年			教科番号	1104	単位数	4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修	
			○				
授業概要	日本語表示のパソコンを使い、ビジネス活動に必要なWord文書作成に関する知識と技術を学ぶ。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな、カタカナ、漢字のローマ字入力、キータイピングの技術が身につけている ・日本語で書かれたコンピュータ用語を理解することができる ・説明文を理解し、日本語文章をワープロ記述する基礎能力が身につく 						
教材名	留学生のためWord2021 ワークブック ルビ付き						
資格の 取得目標	なし						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	OA商社、コンピュータ教育関連機関の経験を有する教員がその経験を活かし文書処理について実習を行う。						
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話等、授業に関係のないものはバックにしまう ・イヤホン、ヘッドホンは外す ・授業とは関係ないサイトを開いたりしない ・わからないことは質問する 						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	0%	20%	40%	40%		100%	

回数	講義内容
1	PC及びWord2019 基本操作 (タスクバー、入カインジケーター、ファイルの開閉等)
2	Wordの起動とタイピング練習① (ひらがな50音からステップアップ)
3	Wordの画面構成とタイピング練習②
4	文字の書式設定(1)タイピング練習③
5	文字の書式設定(2)タイピング練習④
6	段落の書式設定(1)、タイピング練習⑤
7	段落の書式設定(2)、タイピング練習⑥
8	箇条書きと段落番号、タイピング練習
9	段落の計算と網掛け
10	スタイルの活用
11	アウトラインレベルとスタイル変更
12	ヘッダー、フッター
13	作成
14	文書の印刷とPDF
15	ページ設定
16	表の作成(1)
17	表の作成(2)
18	表の作成(3)
19	画像の利用(1)
20	画像の利用(2)
21	図形の描画
22	テキストボックスとワードアート
23	グラフの作成(1)
24	グラフの作成(2)
25	SmartArtの作成(1)
26	SmartArtの作成(2)
27	タブの利用
28	検索と置換
29	変更履歴の活用
30	数式の入力
31	まとめ、練習問題
32	まとめ、練習問題

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	EXCEL実習	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	戸川	
学 年	1年			教科番号	1105	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	日本語表示のパソコンを使い、ビジネス活動に必要なExcel表計算に関する知識と技術を学ぶ					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語で書かれたコンピュータ用語を理解することができる ・説明文を理解して、Excel表計算の基本操作を行うことができる ・表の作成やデータ処理の方法の技術が身につく 					
教材名	留学生のためのExcel2021 ワークブック ルビ付き					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	OA商社、コンピュータ教育関連機関の経験を有する教員がその経験を活かしExcel初級編、表計算、グラフについての講義を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は携帯電話等、授業に関係ないものはしまう ・イヤホン、ヘッドホンは外す ・授業とは関係ないサイトを開いたりしない ・わからないことは質問する 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	Excel 基本操作 (セル、ワークシート、行/列の取り扱い等)
2	ファイルの保存と読み込み、Excelの画面構成
3	セル範囲の選択
4	文字の書式設定
5	背景色と罫線の指定
6	行、列の操作
7	文字の配置と小数点以下の表示
8	セルの書式設定①
9	セルの書式設定②
10	オートフィルとセルの結合
11	ワークシートの操作
12	ワークシートの印刷とPDFの作成
13	印刷レイアウトの指定
14	数式の入力
15	関数の利用(1)
16	関数の利用(2)
17	関数の利用(3)
18	ガラス作成と編集(1)
19	ガラス作成と編集(2)
20	ガラス作成と編集(3)
21	データのダウンロードとCSVの活用
22	データの並び替えと編集
23	振り仮名の表示と編集
24	フィルターを活用
25	条件付き書式(1)
26	条件付き書式(2)
27	クイック分析
28	ウインドウ枠の固定とシートの保護
29	画像や図形の挿入
30	サーティファイ Excel表計算処理技能認定試験3級問題にチャレンジ
31	サーティファイ Excel表計算処理技能認定試験4級問題にチャレンジ
32	サーティファイ Excel表計算処理技能認定試験5級問題にチャレンジ

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	情報処理演習	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	柿沼	
学 年	1年			教科番号	1106	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△	○				
授業概要	日本語表示のパソコンを使い基本的なWebページを作成し、情報を発信することについて学ぶ。					
到達目標	1) 日本語で書かれたコンピュータ用語を理解することができる。 2) 日本語の意味を理解して、HTMLとCSSでWebページ作成の基本的知識が身に付く。 3) JavaScriptを用いてプログラミングの基礎を身に付く。					
教材名	PDF資料					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	システム開発企業で勤務経験を有する教員がその経験を活かし、Webページ作成ならびにプログラミングに関する知識と技術について授業を行う					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	Webサイト制作の基礎 インターネットの基礎、WebサーバとWebブラウザ、Webサイト制作の基礎技術
2	Webサイト制作の基礎 様々なサービスとその使い方、知りたい情報を見つけ方
3	HTMLの基礎 Webページとは、Webページをつくるには、Webページ作成
4	HTMLの基礎 基本的なHTMLタグを覚える、ハイパーリンク、イメージの配置 など
5	CSSの基礎 スタイルシートとは、スタイルシートの基礎、スタイルシートで使われる単位
6	CSSの基礎 HTMLへの組み込み方、見栄えを変更する（カラー、テキスト、レイアウト）
7	中間課題
8	中間課題
9	JavaScript 文章表示、アラート
10	JavaScript 四則演算、変数
11	JavaScript 分岐処理
12	JavaScript 反復処理
13	JavaScript 配列処理
14	JavaScript 関数
15	期末課題
16	期末課題

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	マーケティング技法	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	戸川	
学 年	1年			教科番号	1107	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○	△				
授業概要	これから日本で就職するために、企業の事例や考え方・出来事からマーケティングの基本(考え方・捉え方)を学ぶ					
到達目標	日本の産業について学ぶ、地域について学ぶ、熊谷市について学ぶ マーケティングとはどんなものなのか？ 有名な出来事・話題・内容 マーケティングの基本を理解・説明できるようになる。 日本国内のマーケティングに関するニュースを理解できる。 グループ作業を通して、協力し合うメリットを理解できる。					
教材名	プリント配布					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	OA商社、コンピュータ教育関連機関の経験を有する教員がその経験を活かしマーケティングについて講義を行う					
履修に あたっての 留意点	学生は授業中の母国語での発言・会話を禁止とします スマホはカバンにしまい授業中の使用は禁止とします 授業での分からない言葉単語・日本語は教員へ質問して解決すること。 また、他国の人々を理解するように努めること。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	30%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	日本の産業について学ぶ①
2	日本の産業について学ぶ②
3	埼玉県の産業について学ぶ①
4	埼玉県の産業について学ぶ②
5	熊谷市について学ぶ①
6	熊谷市について学ぶ②
7	熊谷市について学ぶ③
8	まとめと発表
9	マーケティングってなに？
10	マーケティング戦略について(誰に売るかで戦略は変わる)
11	日本で販売したいものは何？(グループ作業)①
12	日本で販売したいものは何？(グループ作業)②
13	日本で販売したいものは何？(グループ作業)③
14	日本で販売したいものは何？(グループ作業)④
15	グループ発表①
16	グループ発表②

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	プレゼンテーション技法	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	戸川	
学 年	1年			教科番号	1108	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△	○				
授業概要	日本語表示のパソコンを使い、ビジネス活動に必要なプレゼンテーションに関する知識と技術を学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語で書かれたコンピュータ用語を理解することができる ・説明文を理解し、PowerPointの基本操作を行うことができる ・PowerPointでプレゼンテーション資料を作成することができる ・適切な速度や声量で、日本語の原稿を棒読みせずにプレゼンテーションできるようになる 					
教材名	プリント教材					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	OA商社、コンピュータ教育関連機関の経験を有する教員がその経験を活かしビジネスに必要なプレゼンテーションについて講義を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話等、授業に関係のないものはしまう ・授業とは関係ないサイトを開いたりしない ・他人に迷惑をかけない 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	30%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	PowerPoint 基本操作
2	文字修飾、図形
3	グラフ、アニメーション
4	表、画像、ワードアート
5	スライドショー、資料作成
6	プレゼンテーション基礎知識
7	プレゼンテーション作成
8	操作のまとめ、練習問題
9	操作のまとめ、練習問題
10	課題1「私の国を紹介します」 楠祭準備を含む
11	課題2「私の国を紹介します」 楠祭準備を含む
12	課題3「私の国を紹介します」 楠祭準備を含む
13	課題4「私の国を紹介します」 楠祭準備を含む
14	課題5「私の国を紹介します」 楠祭準備を含む
15	課題6「私の国を紹介します」 楠祭準備を含む
16	課題7「私の国を紹介します」 楠祭準備を含む
17	課題2「自己紹介」またはフリーテーマ
18	課題3「自己紹介」またはフリーテーマ
19	課題4「自己紹介」またはフリーテーマ
20	課題5「自己紹介」またはフリーテーマ
21	課題6「自己紹介」またはフリーテーマ
22	課題7「自己紹介」またはフリーテーマ
23	課題8「自己紹介」またはフリーテーマ
24	発表
25	発表
26	課題3「将来について」
27	課題4「将来について」
28	課題5「将来について」
29	課題6「将来について」
30	課題7「将来について」
31	発表
32	まとめ、総括

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	異文化コミュニケーション		
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	久保田		
学 年	1年			教科番号	1109	単位数	4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修	
	△	○					
授業概要	日本人の四季折々の暮らし、伝統、行事などを学び、自国の文化や生活習慣を比較しながら、異文化の理解を深める。						
到達目標	日本の歴史の概要を学び各地の四季折々の行事やそれにかかわる生活様式等理解し、また、日本観光地各地の特色、観光地の世界遺産を学び、自国の知人、友人に紹介出来るようにする。また、自国の観光地、習慣などを教室内で発表する。						
教材名	知っていますか 日本のこと—学ぼう話そう日本事情（2023年度版）						
資格の 取得目標	なし						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性							
履修に あたっての 留意点	①各テーマについて、自国の場合はどうか、あるいは自分はどうのように考えるかを発表出来るようにする。 ②積極的な発言・ワークなどにおける協働を行うこと。（質問、考えを述べる など） ③授業中はスマホ、イヤホン、ヘッドホンの使用は禁止する。（鞆にしまう等）						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	30%	10%	30%	30%		100%	

回数	講義内容
1	授業オリエンテーション ・日本の交通ルール(特に自転車利用時)・生活でのトラブル対策(財布を落とす・交通事故・電車で荷物を忘れる)
2	日本について、人口・首都
3	日本について、主な都市とそれらの特徴
4	日本の季節と生活スタイル
5	日本人の名前・名字の使い方・呼び方・敬称・愛称の使い方
6	日本社会での人間関係(家族・学校・社会・会社)
7	野球と日本人(基本的ルール・守備のポジション・道具・球団名・球場名)
8	伝統スポーツの紹介:相撲(ルール・番付と星取表の読み方・有名力士の紹介)
9	マンガとアニメ・マンガやアニメの中の擬態語・擬声語を理解する
10	この50年間のヒット曲、ヒット作品、流行語・日本の大きな事件・世界の事件
11	いろいろな言葉づかい(1)場面・相手
12	いろいろな言葉づかい(2)依頼・誘い・断り
13	いろいろな言葉づかい(3)質問・謝罪
14	日本人の一生(1)
15	日本人の一生(2)
16	年賀状・手紙・メール(1)
17	年賀状・手紙・メール(2)
18	日本の年中行事(1月～3月)
19	日本の年中行事(4月～6月)
20	日本の年中行事(7月～9月)
21	日本の年中行事(10月～12月)
22	トラブル対策・普段の生活で起きるトラブル(電車などでの忘れ物・カード会社・銀行)
23	トラブル対策・普段の生活で起きるトラブル(交通事故)
24	専門学校への進学(日本の教育制度・専門学校と教育制度の違い)
25	専門学校への進学(面接での受け答え・将来の目標、やりたい仕事、その知識の説明)
26	日本の観光地・都道府県名・県庁所在地・その所在地の特色
27	日本の観光地・日本の世界遺産の所在地・国内旅行プランを立てる
28	日本の歴史(1)
29	日本の歴史(2)
30	日本の歴史(3)
31	政治(1)日本の政治システム
32	政治(2)日本国憲法・税の仕組み

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	ビジネス日本語		
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	戸川/小池		
学 年	1年			教科番号	1110	単位数	4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修	
	△	○					
授業概要	<p>①日常的な場面、状況で出会う身近な話題について、標準的な話し方であれば主要な点を理解できる。</p> <p>②身近で個人的にも関心のある話題について述べることができる。</p>						
到達目標	<p>①自分の気持ち、状況、経験などをより豊かに表現できるようになる。</p> <p>②バリエーション練習を通して、いろいろな類似表現を身に付けることができる。</p> <p>③自然な会話を通して、実際の日本語の音やリズムになれることができる。</p>						
教材名	初級が終わったら始めよう 「新にほんご会話トレーニング」（アスク出版）						
資格の 取得目標	<p>①入学時JLPT（日本語能力試験）N3以上有資格者はそれぞれ7月、12月の試験実施日にワンランクアップを目指す。</p> <p>②入学時N3を取得していない学生は7月のJLPTでN3の取得を目指し、12月のJLPTで取得を必須とする。</p>						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性							
履修に あたっての 留意点	<p>①提出物の期限厳守およびミニテスト時の文章の読み取り速度、発話明瞭度および内容理解が点数に含まれる。</p> <p>②今回のテキストはCD付きでハードウェアがない場合音声ダウンロードサービスがあるので、各自自習ができる。</p>						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	30%	10%	30%	30%		100%	

回数	講義内容
1	授業オリエンテーション
2	会話練習 こんなとき、どう話す？
3	UNIT 1 電車に乗る (1)
4	UNIT 2 電車に乗る (2)
5	UNIT 3 電車に乗る (3)
6	UNIT 4 道や場所を尋ねる (1)
7	UNIT 5 道や場所を尋ねる (2)
8	UNIT 6 買い物 (1)
9	UNIT 7 買い物 (2)
10	UNIT 8 郵便局
11	UNIT 9 レストラン
12	UNIT 10 学食
13	UNIT 11 図書館・コンピュータ室
14	UNIT 12 病院
15	会話練習 これが言いたい！
16	UNIT 13 あいさつ
17	UNIT 14 遊びの約束をする
18	UNIT 15 電話をかける
19	UNIT 16 待ち合わせ (1)
20	UNIT 17 待ち合わせ (2)
21	UNIT 18 物を贈る
22	UNIT 19 忘れ物
23	UNIT 20 故障・トラブル
24	UNIT 21 頼む・お願いする (1)
25	UNIT 22 頼む・お願いする (2)
26	UNIT 23 お礼を言う・謝る
27	UNIT 24 誘う・断る
28	UNIT 25 希望を述べる
29	UNIT 26 申し出る・提案する
30	UNIT 27 相談する (1)
31	UNIT 28 相談する (2)
32	UNIT 29 許可・禁止・注意

令和7年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	国際ITビジネス科			教科名	日本語表現法(1組)	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	鶴本	
学 年	1年			教科番号	1111-1	単位数 12.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△	○				
授業概要	①日常的な場面、状況で使われる日本語を確実に理解し、対応できるようにする。					
到達目標	①自発的に疑問点を述べ幅広い応答を出来るようになる。使用教材は10課からなるが、さらに別ページで10課同内容で漢字トレーニングができるようになっているので、「にほんご 漢字トレーニング」のテキストと併せ繰り返し同じ漢字が繰り返されるので記憶に残る。書いて繰り返し声を出して読んで日本語能力試験N3に到達出来るようにする。					
教材名	①にほんご 漢字トレーニング 著者:松浦真理子・上妻直博・半田健一 アスク出版 ②中級へ行こう 日本語の文系と表現55 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子					
資格の取得目標	①入学時JLPT(日本語能力試験)は7月の試験でN4、N3を受験し、12月にはJLPTN3の確実な取得を目指す。					
授業内容と教員の実務経験の関連性						
履修にあたっての留意点	提出物の期限厳守および授業中の応答および小テストが点数に含まれる。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	40%	20%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	「にほんご 漢字トレーニング」PART 0 Step 1 本の字と手書き字の違い、PART 0 Step 2 漢字をきれいに書くポイント
2	「にほんご 漢字トレーニング」PART1 Step1 漢字の読み方がわかる記号 練習1 練習2
3	「にほんご 漢字トレーニング」PART1 Step1 漢字の読み方がわかる記号 練習3
4	「にほんご 漢字トレーニング」PART1 Step2 漢字の読み方が変わるルール 解説1 練習1
5	「にほんご 漢字トレーニング」PART1 Step2 漢字の読み方が変わるルール 解説2 練習2
6	「にほんご 漢字トレーニング」PART1 Step2 漢字の読み方が変わるルール PART1 復習問題 付録復習
7	「にほんご 漢字トレーニング」PART 2 Step1 漢字の意味が解る記号練習1～3
8	「にほんご 漢字トレーニング」PART 2 Step1 漢字の意味が解る記号練習4 Step2 練習1～2 PART2 復習問題
15	「にほんご 漢字トレーニング」PART3 解説 Step1練習1 練習2
16	「にほんご 漢字トレーニング」PART3 解説 Step2練習1 練習2 練習3
17	「にほんご 漢字トレーニング」PART3 Step3練習1 練習2
18	「にほんご 漢字トレーニング」PART3 練習3 復習問題
19	「にほんご 漢字トレーニング」PART4 解説 Step1～復習問題
20	「にほんご 漢字トレーニング」PART5 実践トレーニング Step1練習1 I～V
21	「にほんご 漢字トレーニング」PART5 実践トレーニング Step2～練習 VIII～IX
22	「にほんご 漢字トレーニング」振り返り
23	JLPT模擬問題
24	JLPT模擬問題
25	JLPT模擬問題
26	JLPT模擬問題
27	JLPT模擬問題
28	JLPT模擬問題
29	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第1課ファストフード
30	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第1課ファストフード
31	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第1課ファストフード
32	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第1課ファストフード

回数	講義内容
33	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第1課ファストフード
34	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第1課ファストフード
35	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第2課地震
36	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第2課地震
37	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第2課地震
38	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第2課地震
39	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第2課地震
40	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第2課地震
41	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第3課最近の子ども
42	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第3課最近の子ども
43	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第3課最近の子ども
44	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第3課最近の子ども
45	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第3課最近の子ども
46	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第3課最近の子ども
47	「中級へ行こう 日本語の文系と表現55」第4課日本のイメージ
48	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第4課日本のイメージ
49	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第4課日本のイメージ
50	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第4課日本のイメージ
51	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第4課日本のイメージ
52	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第4課日本のイメージ
53	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第5課睡眠
54	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第5課睡眠
55	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第5課睡眠
56	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第5課睡眠
57	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第5課睡眠
58	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第5課睡眠
59	JLPT模擬問題
60	JLPT模擬問題
61	JLPT模擬問題
62	JLPT模擬問題
63	JLPT模擬問題
64	JLPT模擬問題

回数	講義内容
65	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第6課日本人の発明
66	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第6課日本人の発明
67	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第6課日本人の発明
68	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第6課日本人の発明
69	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第6課日本人の発明
70	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第6課日本人の発明
71	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第7課リサイクルとフリーマーケット
74	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第7課リサイクルとフリーマーケット
75	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第7課リサイクルとフリーマーケット
76	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第7課リサイクルとフリーマーケット
77	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第7課リサイクルとフリーマーケット
78	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第7課リサイクルとフリーマーケット
79	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第8課あいづち
80	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第8課あいづち
81	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第8課あいづち
82	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第8課あいづち
83	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第8課あいづち
84	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第8課あいづち
85	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第9課男の仕事・女の仕事
86	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第9課男の仕事・女の仕事
87	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第9課男の仕事・女の仕事
88	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第9課男の仕事・女の仕事
89	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第9課男の仕事・女の仕事
90	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第9課男の仕事・女の仕事
91	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第10課ことばの使い方
92	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第10課ことばの使い方
93	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第10課ことばの使い方
94	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第10課ことばの使い方
95	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第10課ことばの使い方
96	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第6課～第10課振り返り

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	日本語表現法（2組）	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	鶴本	
学 年	1年			教科番号	1111-2	単位数 12.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△	○				
授業概要	①日常的な場面、状況で使われる日本語をより幅広い理解で対応できるようにする。					
到達目標	①自発的に疑問点を述べ幅広い応答をできるようになる。					
教材名	中級を学ぼう 日本語の文型表現56 中級前期（第2版） 中級を学ぼう 日本語の文型表現82 中級中期 （株）スリーネットワーク					
資格の 取得目標	①入学時JLPT（日本語能力試験）N3以上有資格者はそれぞれ7月、12月にワンランクアップを目指す。②入学時N3を取得していない学生は7月のJLPTでN3取得を目指し、12月のJLPTでN3の取得を必須とする。					
授業内容と 教員の実務経験の 関連性	日本語教育に関する経験を有する教員がその経験を活かし日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語、適切な表現について授業を行う。					
履修に あたっての 留意点	提出物の期限厳守およびミニテストの文章作成力、その内容理解が点数に含まれる。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	50%	10%	10%	20%	10%	100%

回数	講義内容
1	「中級を学ぼう・中級前期」・1課・音楽と音の効果
2	「中級を学ぼう・中級前期」・1課・音楽と音の効果
3	「中級を学ぼう・中級前期」・1課・音楽と音の効果
4	「中級を学ぼう・中級前期」・1課・音楽と音の効果
5	「中級を学ぼう・中級前期」・1課・音楽と音の効果
6	「中級を学ぼう・中級前期」・2課・いい数字・悪い数字
7	「中級を学ぼう・中級前期」・2課・いい数字・悪い数字
8	「中級を学ぼう・中級前期」・2課・いい数字・悪い数字
9	「中級を学ぼう・中級前期」・2課・いい数字・悪い数字
10	「中級を学ぼう・中級前期」・2課・いい数字・悪い数字
11	「中級を学ぼう・中級前期」・3課・「面白い本」
12	「中級を学ぼう・中級前期」・3課・「面白い本」
13	「中級を学ぼう・中級前期」・3課・「面白い本」
14	「中級を学ぼう・中級前期」・3課・「面白い本」
15	「中級を学ぼう・中級前期」・3課・「面白い本」
16	「中級を学ぼう・中級前期」・4課・くしゃみ
17	「中級を学ぼう・中級前期」・4課・くしゃみ
18	「中級を学ぼう・中級前期」・4課・くしゃみ
19	「中級を学ぼう・中級前期」・4課・くしゃみ
20	「中級を学ぼう・中級前期」・4課・くしゃみ
21	「中級を学ぼう・中級前期」・5課・私の町
22	「中級を学ぼう・中級前期」・5課・私の町
23	JLPT模擬問題（実施日：4月末）
24	JLPT模擬問題（実施日：4月末）
25	JLPT模擬問題（実施日：5月末）
26	JLPT模擬問題（実施日：5月末）
27	JLPT模擬問題（実施日：6月末）
28	JLPT模擬問題（実施日：6月末）

回数	講義内容
29	「中級を学ぼう・中級前期」・5課・私の町
30	「中級を学ぼう・中級前期」・5課・私の町
31	「中級を学ぼう・中級前期」・5課・私の町
32	「中級を学ぼう・中級前期」・6課・この日にたべなきゃ意味がない
33	「中級を学ぼう・中級前期」・6課・この日にたべなきゃ意味がない
34	「中級を学ぼう・中級前期」・6課・この日にたべなきゃ意味がない
35	「中級を学ぼう・中級前期」・6課・この日にたべなきゃ意味がない
36	「中級を学ぼう・中級前期」・6課・この日にたべなきゃ意味がない
37	「中級を学ぼう・中級前期」・7課・お相撲さんの世界
38	「中級を学ぼう・中級前期」・7課・お相撲さんの世界
39	「中級を学ぼう・中級前期」・7課・お相撲さんの世界
40	「中級を学ぼう・中級前期」・7課・お相撲さんの世界
41	「中級を学ぼう・中級前期」・7課・お相撲さんの世界
42	「中級を学ぼう・中級前期」・8課・第一印象
43	「中級を学ぼう・中級前期」・8課・第一印象
44	「中級を学ぼう・中級前期」・8課・第一印象
45	「中級を学ぼう・中級前期」・8課・第一印象
46	「中級を学ぼう・中級前期」・8課・第一印象
47	「中級を学ぼう・中級中期」・1課・色
48	「中級を学ぼう・中級中期」・1課・色
49	「中級を学ぼう・中級中期」・1課・色
50	「中級を学ぼう・中級中期」・1課・色
51	「中級を学ぼう・中級中期」・1課・色
52	「中級を学ぼう・中級中期」・2課・ユーモア・ジョーク
53	「中級を学ぼう・中級中期」・2課・ユーモア・ジョーク
54	JLPT模擬問題（実施日：9月末）
55	JLPT模擬問題（実施日：9月末）
56	JLPT模擬問題（実施日：10月末）
57	JLPT模擬問題（実施日：10月末）
58	JLPT模擬問題（実施日：11月末）
59	JLPT模擬問題（実施日：11月末）

回数	講義内容
60	「中級を学ぼう・中級中期」・2課・ユーモア・ジョーク
61	「中級を学ぼう・中級中期」・2課・ユーモア・ジョーク
62	「中級を学ぼう・中級中期」・2課・ユーモア・ジョーク
63	「中級を学ぼう・中級中期」・3課・制服
64	「中級を学ぼう・中級中期」・3課・制服
65	「中級を学ぼう・中級中期」・3課・制服
66	「中級を学ぼう・中級中期」・3課・制服
67	「中級を学ぼう・中級中期」・3課・制服
68	「中級を学ぼう・中級中期」・4課・算数
69	「中級を学ぼう・中級中期」・4課・算数
70	「中級を学ぼう・中級中期」・4課・算数
71	「中級を学ぼう・中級中期」・4課・算数
72	「中級を学ぼう・中級中期」・4課・算数
73	「中級を学ぼう・中級中期」・5課・遊びと運動
74	「中級を学ぼう・中級中期」・5課・遊びと運動
75	「中級を学ぼう・中級中期」・5課・遊びと運動
76	「中級を学ぼう・中級中期」・5課・遊びと運動
77	「中級を学ぼう・中級中期」・5課・遊びと運動
78	「中級を学ぼう・中級中期」・6課・お金
79	「中級を学ぼう・中級中期」・6課・お金
80	「中級を学ぼう・中級中期」・6課・お金
81	「中級を学ぼう・中級中期」・6課・お金
82	「中級を学ぼう・中級中期」・6課・お金
83	「中級を学ぼう・中級中期」・7課・水
84	「中級を学ぼう・中級中期」・7課・水
85	「中級を学ぼう・中級中期」・7課・水
86	「中級を学ぼう・中級中期」・7課・水
87	「中級を学ぼう・中級中期」・8課・遺伝
88	「中級を学ぼう・中級中期」・8課・遺伝
89	「中級を学ぼう・中級中期」・8課・遺伝
90	「中級を学ぼう・中級中期」・8課・遺伝

回数	講義内容
91	「中級を学ぼう・中級中期」・9課・漫画・アニメ・本
92	「中級を学ぼう・中級中期」・9課・漫画・アニメ・本
93	「中級を学ぼう・中級中期」・9課・漫画・アニメ・本
94	「中級を学ぼう・中級中期」・10課・ヒトと動物
95	「中級を学ぼう・中級中期」・10課・ヒトと動物
96	「中級を学ぼう・中級中期」・日本語表現法・一年のふりかえり

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	キャリアデザイン	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	戸川/小池	
学 年	1年			教科番号	1112	単位数 8.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○	△				
授業概要	<p>考える発想力と理解する読解力、言いたいことを相手に伝える表現力を学ぶ。 日本で就労するために、業種や職種などについて理解を深める。 履歴書や自己アピール文の作成のため、作文の書き方について学ぶ。 2年制コースの授業内容の理解や合同GDを通じてコミュニケーションを図る。</p>					
到達目標	<p>1) 自分の考えを日本語ではっきりと相手に伝えることができるようになる。 2) 日本人学生とコミュニケーションをとることで相手の話すことを理解し、相手に伝える日本語力が身につく。 3) 日本で生活するために必要な知識（法律や規則など）が見につく。 4) 自己アピール文を書くための知識が身につく。 5) 日本で就職するための知識や技術が見につく。</p>					
教材名	プリント教材配布					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	<p>①次の授業で行うセクションを読み、不明点を挙げておくこと。（予習） ②積極的な発言・ワークなどにおける協働を行うこと。（質問、考えを述べるなど） ③授業中はスマホの使用は禁止する。（鞆にしまう）</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション(生活編)(1)、JLPT申込、活動機関の離脱や移籍処理など
2	オリエンテーション(生活編)(2) "
3	オリエンテーション(生活編)(3)、調査書の作成、在留期間延長手続き 等
4	オリエンテーション(生活編)(4) "
5	オリエンテーション(生活編)(5) "
6	オリエンテーション(生活編)(6) "
7	オリエンテーション(生活編)(7) "
8	オリエンテーション(生活編)(8) "
9	学生の手引き(1)、自己紹介文の作成、アイスブレイク(クラス交流)
10	学生の手引き(2) "
11	学生の手引き(3) "
12	学生の手引き(4) "
13	学生の手引き(5) "
14	学生の手引き(6) "
15	学生の手引き(7) "
16	学生の手引き(8) "
17	市政宅配講座(予定)、暑中お見舞いはがきの作成
18	市政宅配講座(予定)、暑中お見舞いはがきの作成
19	JLPT対策と個別ガイダンス(1)
20	JLPT対策と個別ガイダンス(2)
21	JLPT対策と個別ガイダンス(3)
22	JLPT対策と個別ガイダンス(4)
23	JLPT対策と個別ガイダンス(5)、楠祭について
24	JLPT対策と個別ガイダンス(6)
25	楠祭の企画
26	楠祭の企画
27	楠祭の準備(1)
28	楠祭の準備(2)
29	楠祭の準備(3)
30	楠祭の準備(4)
31	楠祭の準備(5)
32	進学等についての個別ガイダンス

回数	講義内容
33	後期にむけて、進学について、JLPT申込、個別ガイダンス、スピーチコンテスト 等
34	後期にむけて、進学について、JLPT申込、個別ガイダンス、スピーチコンテスト 等
35	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、スピーチコンテスト 等
36	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、スピーチコンテスト 等
37	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、スピーチコンテスト 等
38	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、スピーチコンテスト 等
39	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、スピーチコンテスト 等
40	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、スピーチコンテスト 等
41	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、自己紹介、アイスブレイク 等
42	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、自己紹介、アイスブレイク 等
43	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、自己紹介、アイスブレイク 等
44	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、自己紹介、アイスブレイク 等
45	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、自己紹介、アイスブレイク 等
46	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、自己紹介、アイスブレイク 等
47	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、自己紹介、アイスブレイク 等
48	後期にむけて、進学について、個別ガイダンス、自己紹介、アイスブレイク 等
49	JLPT対策と個別ガイダンス(進学相談)
50	JLPT対策と個別ガイダンス(進学相談)
51	JLPT対策と個別ガイダンス(進学相談)
52	JLPT対策と個別ガイダンス(進学相談)
53	JLPT対策と個別ガイダンス(進学相談)
54	JLPT対策と個別ガイダンス(進学相談)
55	JLPT対策と個別ガイダンス(進学相談)
56	JLPT対策と個別ガイダンス(進学相談)
57	卒業にむけて、進路(内部進学、外部進学など)のサポート
58	卒業にむけて、進路(内部進学、外部進学など)のサポート
59	卒業にむけて、進路(内部進学、外部進学など)のサポート
60	卒業にむけて、進路(内部進学、外部進学など)のサポート
61	卒業にむけて、進路(内部進学、外部進学など)のサポート
62	卒業にむけて、進路(内部進学、外部進学など)のサポート
63	卒業にむけて、進路(内部進学、外部進学など)のサポート
64	卒業にむけて、進路(内部進学、外部進学など)のサポート